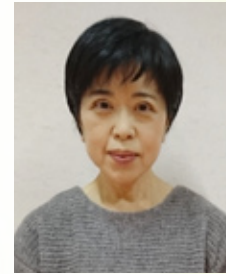


ミリカ2016年1月14日掲載

「妊娠」について、 赤ちゃんの出生前、

はじめまして。私は助産師として、保育園で日々子どもたちの成長発達や体調を見たり、保護者の方たちとさまざまなお話をしたりという仕事をしています。何回かこの子育てコーナーを担当させていただけるということで、まず1回目は赤ちゃんの出生前、「妊娠」についてお話をさせていただきます。赤ちゃんは受精後約9カ月と1週間(266日)、お母さんの子宮の中で過ごします。十月十日(とつきとおか)というのは昔の「数え」でのこと。実際は妊娠して9カ月ちょっとの期間で生まれてきます。その間、子宮の中の羊水の中で、お母さんの心音や声を心地よく聞き、お母さんからの栄養や酸素やホルモンなどを胎盤から臍帯を通して受け取っています。妊娠中は、順調なら普通の生活をされるといいですが、それでも絶対駄目なものが喫煙です。あとはできる

だけ“ゆったり”を意識して過ごされるといいですね。高知県は「こうちブレマnet」のサイトを立ち上げ、妊娠や子育ての情報を発信していますし、高知市では妊婦さんを対象に教室を開催しています。高知県助産師会「子育て・女性健康支援センター高知」でも、妊娠中の各教室を開き、さまざまなご相談を電話やメールで対応しています。心配なことは、おひとりで抱え込まず誰かに話しましょう。大勢の人が妊婦さんを見守っています。次回は出産後の授乳について、母乳が出ない、母乳が足りない、ミルクの量はこれでいいか、母乳の栄養や、いつまで飲ませられるかなどのお話をさせていただきます。そしてその後は、0歳、1歳とそれぞれの時期において、お母さんやお父さんが気になることを中心にお話をさせていただけたらと思っています。



めぐみ保育園 園長
弘田 恵子

めぐみ保育園園長。22歳で助産師になり、4年間高知の総合病院産婦人科でさまざまな出産に立ち会う。26歳から大阪府立母子保健総合医療センターのNICUで、6年間未熟児や障害のある赤ちゃんのケアをし、その後堺市で母乳育児相談室を仲間と開設。18年前から高知市内の保育園で、日々子どもたちと楽しく暮らす。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。

子育て
コラム
parenting
column